

# 2024年3月期 第1四半期決算説明

2023年8月4日



# 目次

連結業績サマリー

第1四半期決算ハイライト

通期業績予想

〈参考〉 DATA FILE



2024年3月期  
第1四半期決算

# 連結業績サマリー

## 連結経営指標等（経営成績）の概要

（単位：百万円）

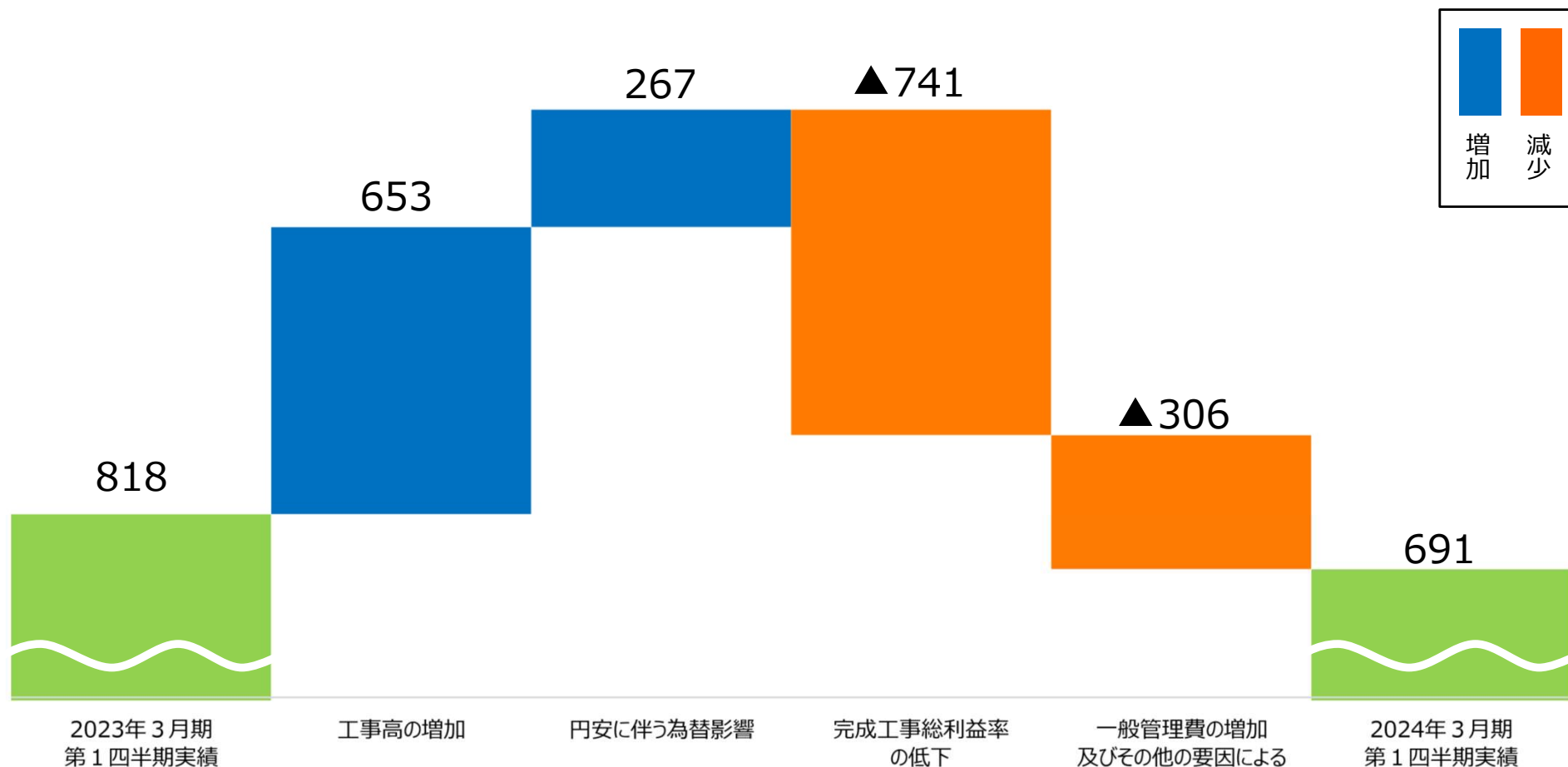
	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	増減	増減率
期首繰越工事高	163,782	184,158	20,375	12.4%
受注工事高	66,712	67,005	292	0.4%
完成工事高	35,342	40,731	5,389	15.2%
完成工事総利益	4,280	4,459	179	4.2%
完成工事総利益率(%)	12.1%	10.9%	▲1.2p	－
営業利益	818	691	▲126	▲15.5%
営業利益率(%)	2.3%	1.7%	▲0.6p	－
経常利益	1,308	1,141	▲167	▲12.8%
経常利益率(%)	3.7%	2.8%	▲0.9p	－
親会社株主に帰属する四半期純利益	862	755	▲107	▲12.5%
四半期利益率(%)	2.4%	1.9%	▲0.6p	－

## 事業環境および当社の概要

- 受注工事高は、産業施設、医療関連施設、大阪万博関連施設等を中心に大型工事の受注が確保できた結果、前期並みの水準で好調に推移しました。
- 前期からの繰越工事は大型一般工事が増加しました。一方で、利益率の高い大・中規模のリニューアル工事が減少しました。その結果、完成工事高は増加しましたが、完成工事総利益率は低下しました。
- 完成工事総利益は前期比で増加したものの、DX投資等による一般管理費の増加を受け、営業利益は減益となりました。

## 連結営業利益増加の内訳

(単位：百万円)



- 工事高の増加は、産業施設、空港および医療関連施設などの大型工事が順調に進捗したことによります。
- 前年から始まった円安は当期においても進行し、これにより在外支店の外貨建売上高、利益が増加しました。
- 採算性の高い中規模のリニューアル工事が減少したことを受け、完成工事利益率は低下しました。

## 連結部門別工事高の推移

(単位：百万円)

		2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	増減	増減率
受注 工事 高	電気工事	7,906	10,959	3,052	38.6%
	管工事	58,805	56,046	▲2,759	▲4.7%
	合計	66,712	67,005	292	0.4%
完成 工事 高	電気工事	6,102	6,160	58	1.0%
	管工事	29,239	34,571	5,331	18.2%
	合計	35,342	40,731	5,389	15.2%
繰越 工事 高	電気工事	25,266	24,122	▲1,143	▲4.5%
	管工事	169,885	186,308	16,423	9.7%
	合計	195,152	210,431	15,279	7.8%

- 受注工事高は、電気工事における産業施設、再開発案件などの増加をうけ、前期並みとなりました。
- 完成工事高は、産業施設や空港、医療関連施設などの大型工事が順調に進捗したことにより、増加しました。
- 繰越工事高は、医療関連施設、再開発、産業施設などの大型工事の受注により、増加しました。

## 連結経営指標等（財政状態）の概要

(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期 第1四半期	増減	増減率	主な増減要因・特記事項
純資産	82,424	83,093	668	0.8%	—
総資産	148,544	136,803	▲11,740	▲7.9%	前期計上の債務の支払が進んだため
1株当たり純資産 (BPS)	3,841.33円	3,870.13円	28.80円	0.7%	—
株価純資産倍率 (PBR)	0.62倍	0.70倍	—	—	(参考) 2023年3月 株価終値：2,369円 2023年6月 株価終値：2,722円
自己資本比率	55.4%	60.6%	5.2p	—	—

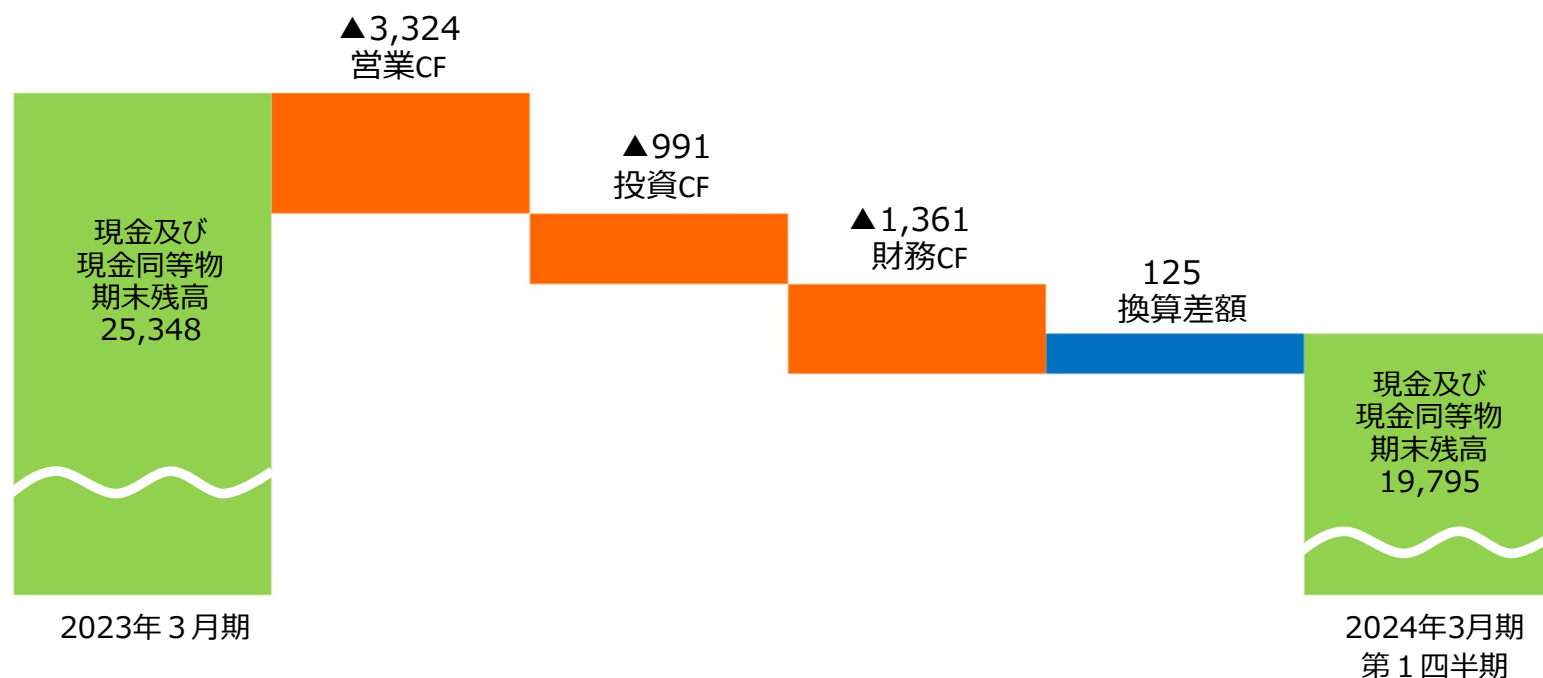
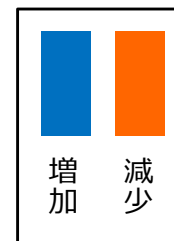
## 連結経営指標等（キャッシュ・フロー）の概要 [ご参考：決算短信では省略しております。]

(単位：百万円)

	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	増減	増減率	主な増減要因・特記事項
営業活動によるCF	▲657	▲3,324	▲2,666	—	工事原価の支払いの先行
投資活動によるCF	▲860	▲991	▲130	—	新潟支店の建替、オフサイト施設の建設等
財務活動によるCF	▲1,287	▲1,361	▲74	—	配当金の支払
現金及び現金同等物の期首残高	16,037	25,348	9,310	58.1%	—
現金及び現金同等物の増減額	▲2,655	▲5,552	▲2,897	—	—
現金及び現金同等物 四半期末残高	13,381	19,795	6,413	47.9%	—

## キャッシュ・フローの内訳（現金及び現金同等物期末残高の推移）

（単位：百万円）



- キャッシュフローの内訳は、営業CF（工事原価の支払いの先行）、投資CF（新潟支店の建替、オフサイト施設の建設等）、財務CF（配当の支払）それぞれの要因により、減少しております。
- 運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行3行と貸出コミットメントライン契約を締結しております。



2024年3月期  
第1四半期決算

# 第1四半期決算 ハイライト

## リニューアル・直接・官庁工事の状況

(単位：百万円)

	2023年3月期			2024年3月期	前年同期比	
	第1四半期	第2～4四半期	通期	第1四半期	増減	増減率
リニューアル工事	30,251	53,440	83,691	21,668	▲8,582	▲28.4%
リニューアル比率(%)	45.3%	38.3%	40.6%	32.3%	—	—
大規模・中規模 の改修工事	16,491	22,527	39,018	9,625	▲6,866	▲41.6%
小規模 の改修工事	13,759	30,913	44,673	12,043	▲1,716	▲12.5%
一般工事	36,461	86,184	122,646	45,336	8,875	24.3%
受注工事高合計	66,712	139,625	206,337	67,005	292	0.4%
うち、直接受注	33,279	57,013	90,293	23,373	▲9,906	▲29.8%
直接比率(%)	49.9%	40.8%	43.8%	34.9%	—	—
うち、官庁工事	5,606	14,224	19,830	15,753	10,146	181.0%
官庁比率(%)	8.4%	10.2%	9.6%	23.5%	—	—

- リニューアル工事は、受注拡大に向け、大型一般工事への受注に注力したことにより減少しました。
- 大型一般工事は、産業施設および医療関連施設などの受注により増加しました。
- 直接受注は、前期の海外大型案件受注の反動により減少しました。
- 官庁工事は、大型案件の受注により大幅に増加しました。

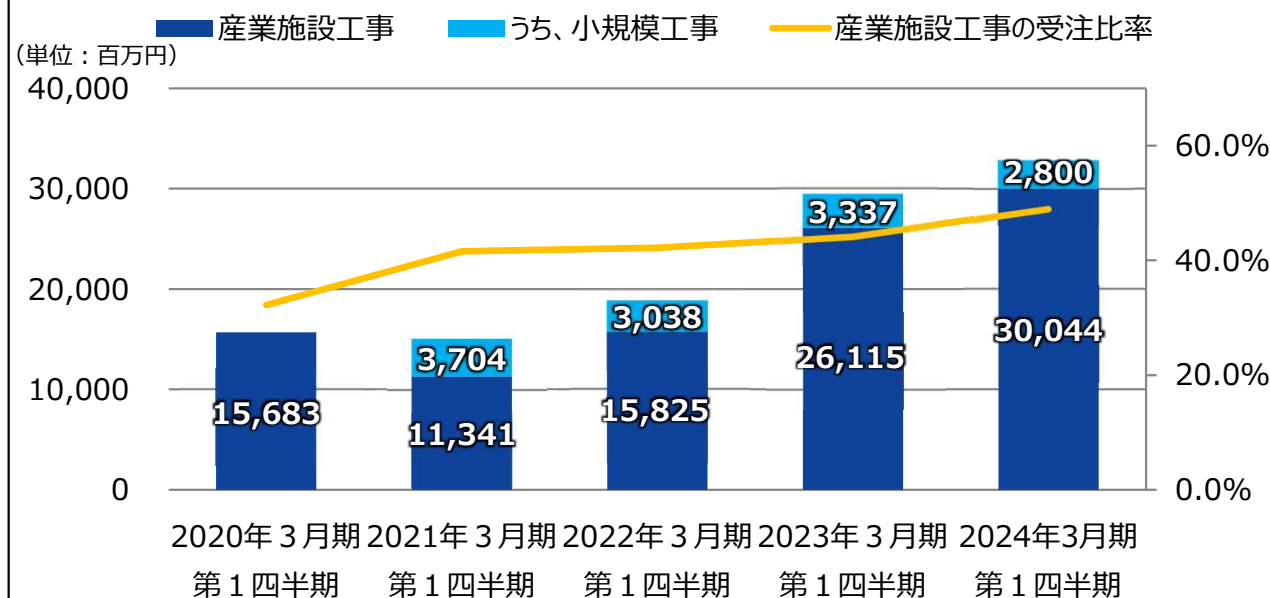
## 産業施設工事の状況

(単位：百万円)

	2023年3月期			2024年3月期	前期比	
	第1四半期	第2~4四半期	通期	第1四半期	増減	増減率
産業施設工事合計	29,452	61,728	91,181	32,843	3,391	11.5%
(受注比率%)	44.1%	44.2%	44.2%	49.0%	-	-
受注工事高合計	66,712	139,625	206,337	67,005	292	0.4%

※工場、研究所、データセンター、物流施設を「産業施設」として区分しています。

### 産業施設工事の受注工事高の推移



- 産業施設工事の受注工事高が、過去最高であった前期を上回る状況で、受注工事高全体に占める割合が49%に増加しました。
- 引き続き大型半導体工場などの受注を予定しています。

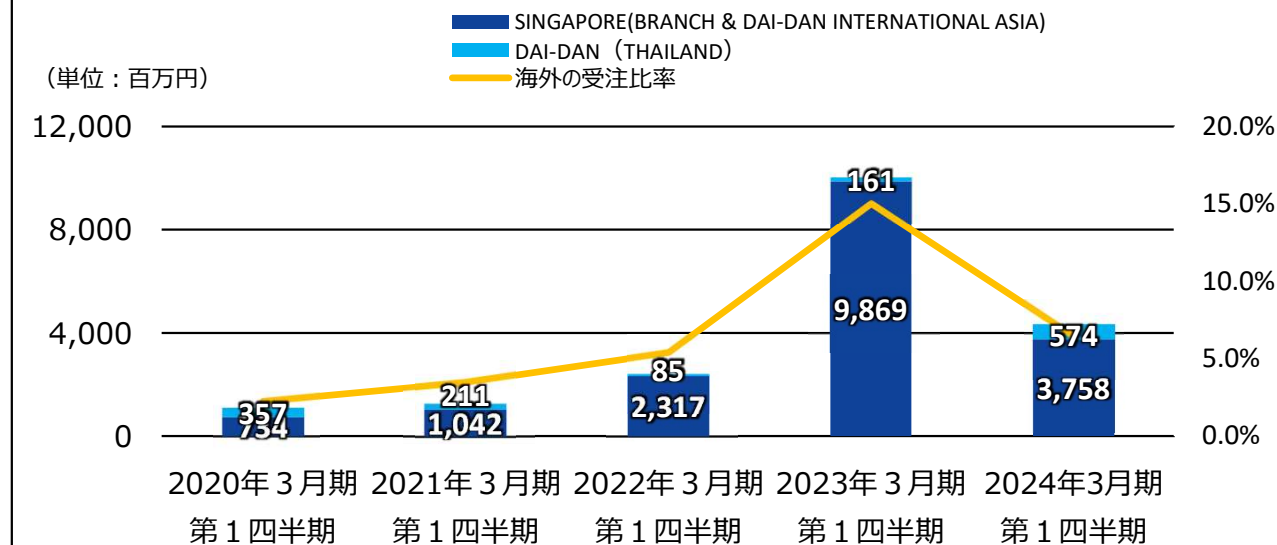
## 海外事業の状況

- 海外事業は、シンガポール（支店、およびDAI-DAN INTERNATIONAL ASIA PTE.LTD.）、タイ（DAI-DAN (THAILAND) Co.,LTD.）、ベトナム（DAI-DAN (VIETNAM) Co.,LTD.（非連結））および台湾（台湾大暖股份有限公司（非連結））を拠点に活動しています。
- 2023年2月にはシンガポールのPresico社(Presico Engineering Pte.Ltd.)の株式の40%を取得し、同社を持分法適用関連会社としております。

（単位：百万円）

	2023年3月期			2024年3月期	前期比	
	第1四半期	第2～4四半期	通期	第1四半期	増減	増減率
海外工事合計（連結）	10,029	10,360	20,390	4,331	▲5,698	▲56.8%
（受注比率%）	15.0%	7.4%	9.9%	6.5%	—	—
受注工事高合計	66,712	139,625	206,337	67,005	292	0.4%

## 海外の受注工事高の推移(連結)

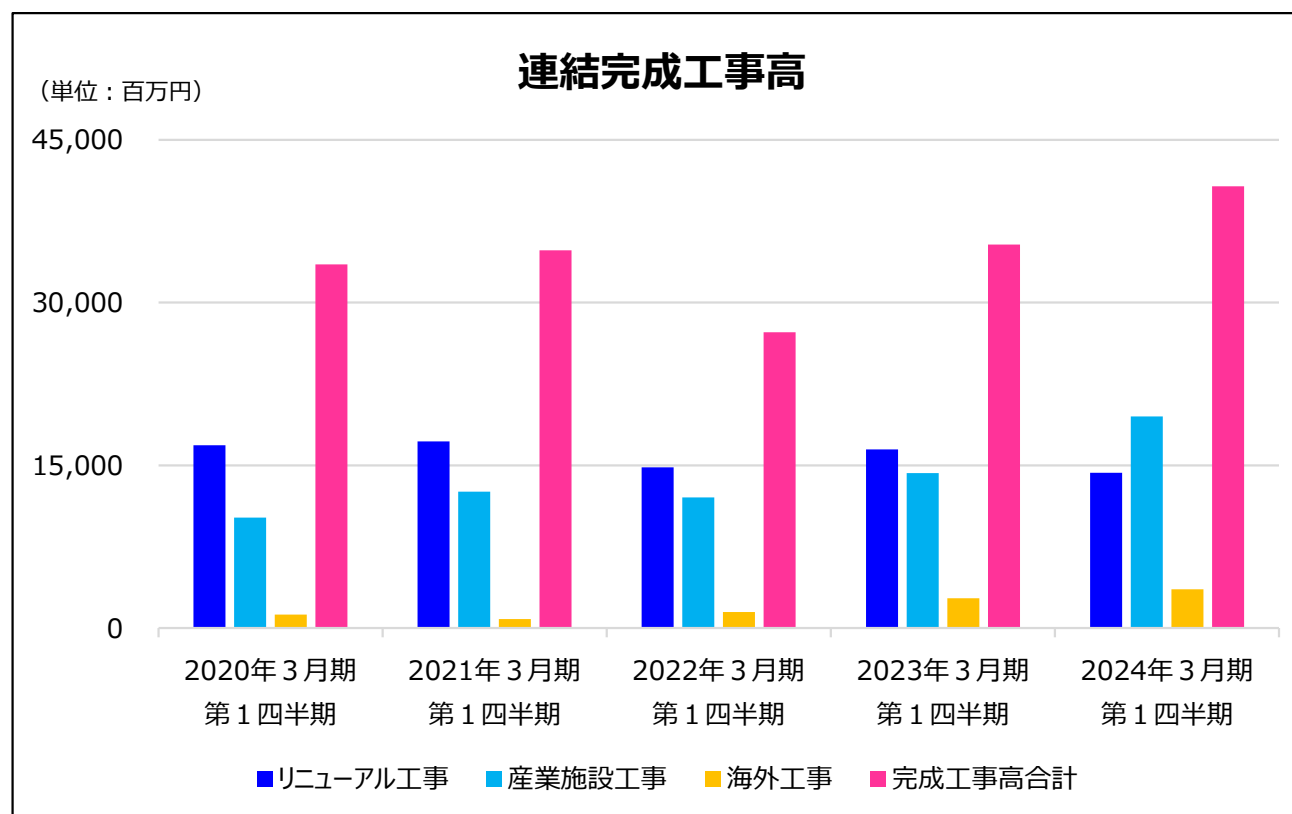


- シンガポールは、前期に大型のリゾート施設案件を受注した反動で減少しました。
- タイは、工場の受注などを受け、前期比で増加しました。

(単位：百万円)

	2023年3月期 第1四半期		2024年3月期 第1四半期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
完成工事高合計	35,342	100.0%	40,731	100.0%	5,389	15.2%
うち (リニューアル工事)	16,479	46.6%	14,307	35.1%	▲2,171	▲13.2%
(産業施設工事)	14,293	40.4%	19,498	47.9%	5,204	36.4%
(海外工事)	2,738	7.7%	3,585	8.8%	847	30.9%

※リニューアル工事、産業施設工事、海外工事は、それぞれの工事種類ごとの集計であるため重複しているものも含まれます。

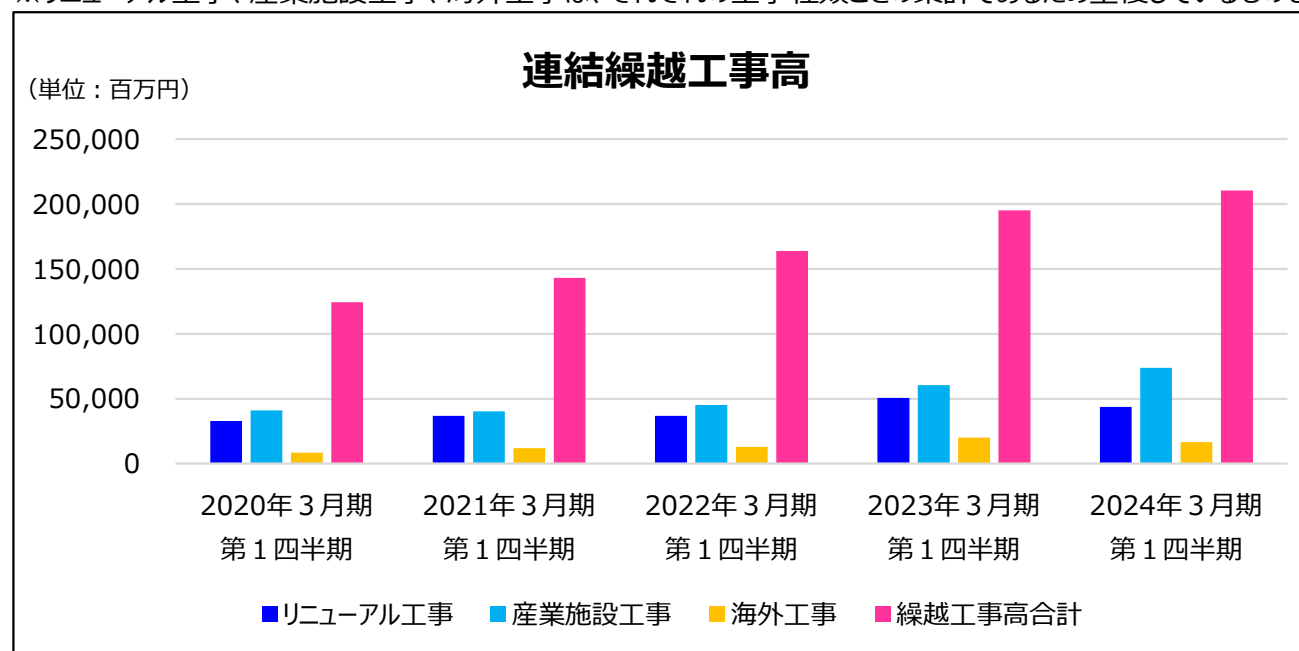


- リニューアル工事は、前期繰越工事において一般工事が増加したことを受け、減少しました。
- 産業施設工事・海外工事は、主に工場やデータセンターの大型工事が進捗したことにより増加しました。
- 上記のほかにも空港や再開発案件の進捗により増加しました。

(単位：百万円)

	2023年3月期 第1四半期		2024年3月期 第1四半期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
期首繰越工事高	163,782	—	184,158	—	20,375	12.4%
受注工事高	66,712	—	67,005	—	292	0.4%
完成工事高	35,342	—	40,731	—	5,389	15.2%
繰越工事高	195,152	100.0%	210,431	100.0%	15,279	7.8%
うち (リニューアル工事)	50,668	26.0%	43,663	20.7%	▲7,005	▲13.8%
(産業施設工事)	60,417	31.0%	73,913	35.1%	13,495	22.3%
(海外工事)	20,130	10.3%	16,742	8.0%	▲3,388	▲16.8%
うち当期完成予定	104,264	—	122,594	—	18,330	17.6%

※リニューアル工事、産業施設工事、海外工事は、それぞれの工事種類ごとの集計であるため重複しているものも含まれます。



- 当期の繰越工事高は、受注工事高が完成工事高を上回り、前期と比べ増加しました。
- 医療関連施設や産業施設工事などの大規模案件を中心に、当期の出来高に寄与する手持ち工事を豊富に抱えています。

2024年3月期  
第1四半期決算

2024年3月期  
通期業績予想

## 連結通期業績予想

(単位：百万円)

	2023年3月期			2024年3月期			前期対比 通期	
	第1四半期	第2~4四半期	通期	第1四半期	第2~4四半期(予想)	通期(予想)	増減	増減率
受注工事高	66,712	139,625	206,337	67,005	142,995	210,000	3,663	1.8%
完成工事高	35,342	150,619	185,961	40,731	159,269	200,000	14,039	7.5%
完成工事総利益	4,280	18,344	22,624	4,459	19,941	24,400	1,776	7.9%
完成工事総利益率(%)	12.1%	12.2%	12.2%	10.9%	12.5%	12.2%	0.0%	—
営業利益	818	7,610	8,428	691	7,809	8,500	72	0.9%
営業利益率(%)	2.3%	5.1%	4.5%	1.7%	4.9%	4.3%	▲0.3%	—
経常利益	1,308	7,980	9,288	1,141	7,759	8,900	▲388	▲4.2%
経常利益率(%)	3.7%	5.3%	5.0%	2.8%	4.9%	4.5%	▲0.5%	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	862	5,764	6,626	755	5,745	6,500	▲126	▲1.9%
当期純利益率(%)	2.4%	3.8%	3.6%	1.9%	3.6%	3.3%	▲0.3%	—
自己資本当期純利益率 (ROE)	—	—	8.3%	—	—	7.7%	▲0.6%	—

## 業績予想の前提

- 2023年5月11日に発表した決算短信から変更はございません。
- 当第1四半期は前期と比べ増収減益となりましたが、当期完成予定の繰越工事も豊富であり、通期も業績予想のとおり推移する見込みです。



## 株式分割及び配当予想の修正（増配）について

当社は、2023年8月4日開催の取締役会において、株式分割及び定款の一部変更並びに配当予想の修正（増配）について決議いたしました。

（※詳細は2023年8月4日公表の「株式分割及び定款の一部変更並びに配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」を参照願います。）

## 株式分割について

### 1. 株式分割について

#### (1) 株式分割の目的

当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げることにより、より投資しやすい環境を整え、市場流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としております。

#### (2) 株式分割の概要

##### ①分割の方法

2023年9月30日（土）（当日は休日扱いとなるため、株主名簿記載の株主の確定は実質的に2023年9月29日（金））を基準日として、同日の最終の株主名簿に記載された株主の有する当社普通株式を、1株につき2株の割合をもって分割いたします。

##### ②分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	22,981,901株
今回の分割により増加する株式数	22,981,901株
株式分割後の発行済株式総数	45,963,802株
株式分割後の発行可能株式総数	80,000,000株

##### ③分割の日程

基準日公告日(予定):2023年9月14日（木）、基準日:2023年9月30日（土）、効力発生日:2023年10月1日（日）

## 配当予想修正（増配）について

- 日頃から当社を支援頂いている株主の皆さまに対する利益還元のより一層の充実を図るべく、2024年3月期の1株当たりの期末配当金につきましては、2023年5月11日付で公表いたしました株式分割前の株式1株あたり55円より5円増配し、株式分割前の株式1株あたり60円（分割後30円）を予定しております。

	年間配当金			配当金総額	配当性向	純資産配当率
	第2四半期末	期末	合計	(合計)	(連結)	(連結)
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	45.00	45.00	90.00	1,935	33.3%	2.5%
2023年3月期	45.00	55.00	100.00	2,150	32.3%	2.7%
2024年3月期（予想） （株式分割前換算）	55.00	30.00 (60.00)	— (115.00)	—	37.9%	—

## 株主還元に対する方針

- 利益配当による株主への利益還元を経営上の最重要施策と考え、健全な財務体質の構築に努めております。
- 株主への更なる利益還元を進めるため、2024年3月期より配当性向35%（従来は30%）以上を新たな配当方針としております。

## 自己株式取得について

- 株主還元及び資本効率の向上を目的とし、適宜検討してまいります。

An underwater scene with a diver on the left and a large shark swimming towards the right. The background is a deep blue with some greenish-yellow light filtering in from the bottom left. The text is overlaid on the right side of the image.

**〈参考〉**  
**DATA FILE**  
**〔通期〕**

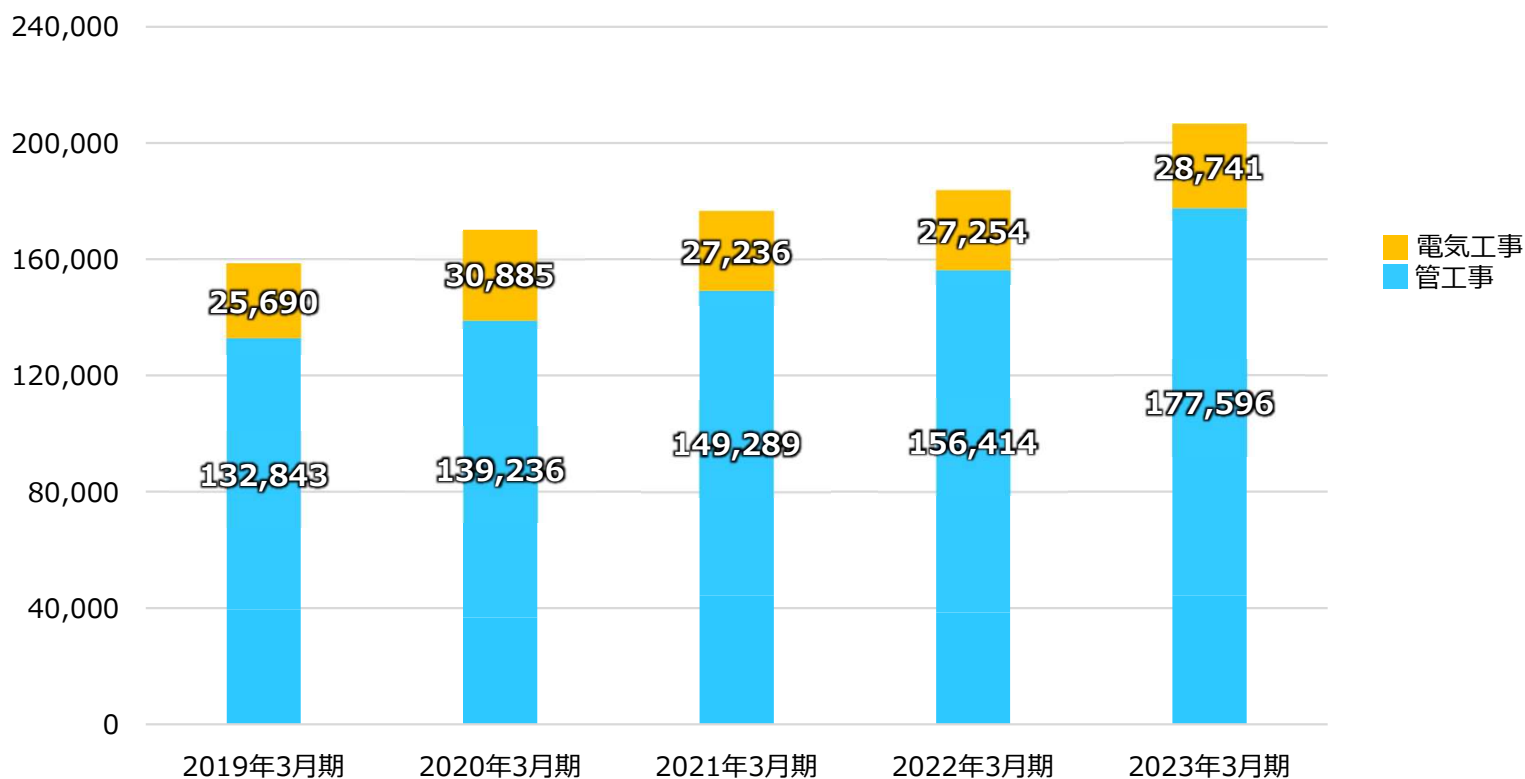
# 連結受注工事高（工種別）〔通期〕

(単位：百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
電気工事	25,690	30,885	27,236	27,254	28,741
管工事	132,843	139,236	149,289	156,414	177,596
合計	158,533	170,121	176,526	183,668	206,337

(単位：百万円)

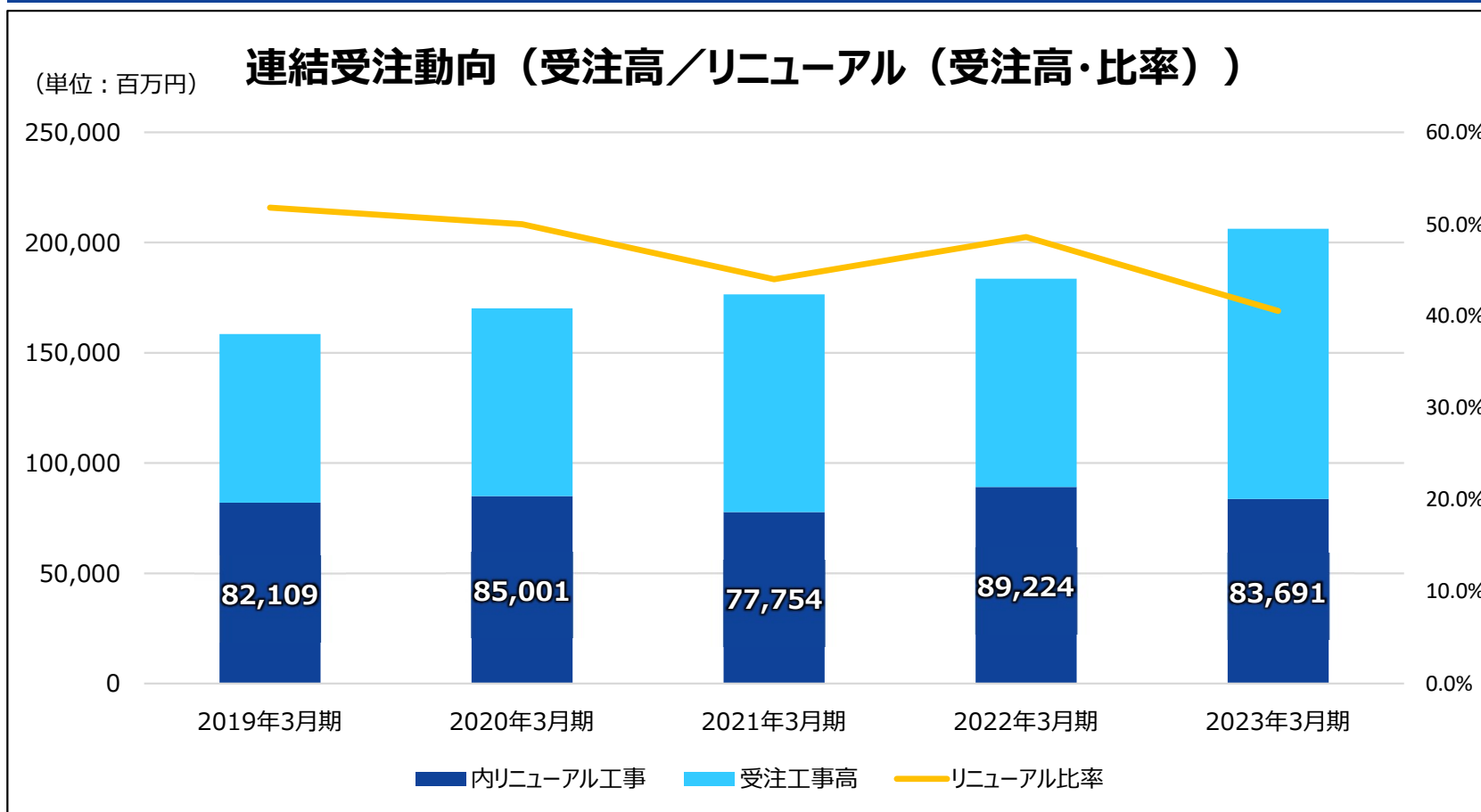
## 連結受注工事高（工種別）



# 連結受注動向（受注高／リニューアル）〔通期〕

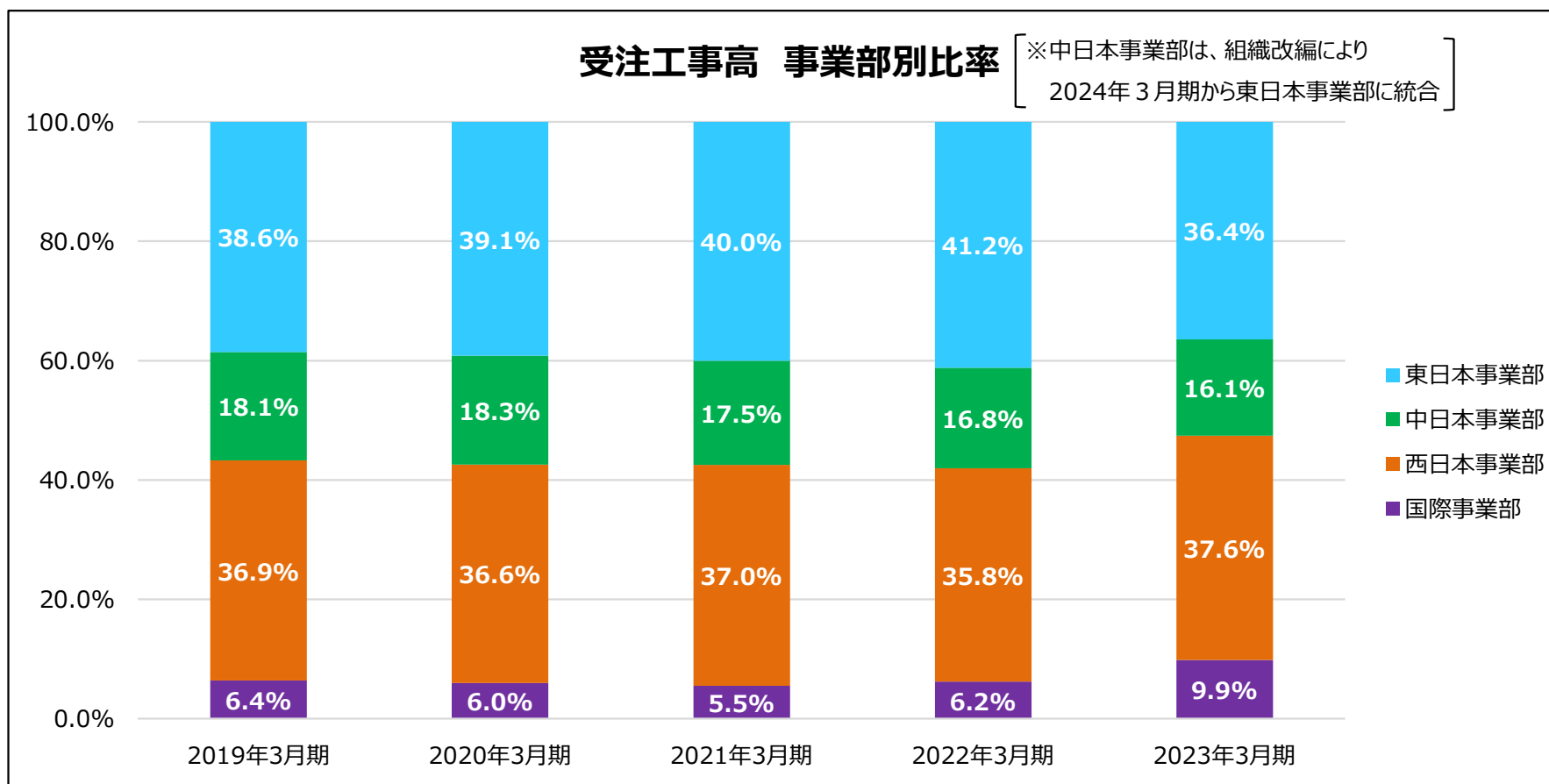
（単位：百万円）

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
受注工事高	158,533	170,121	176,526	183,668	206,337
リニューアル工事	82,109	85,001	77,754	89,224	83,691
リニューアル比率	51.8%	50.0%	44.0%	48.6%	40.6%



## 受注工事高比率

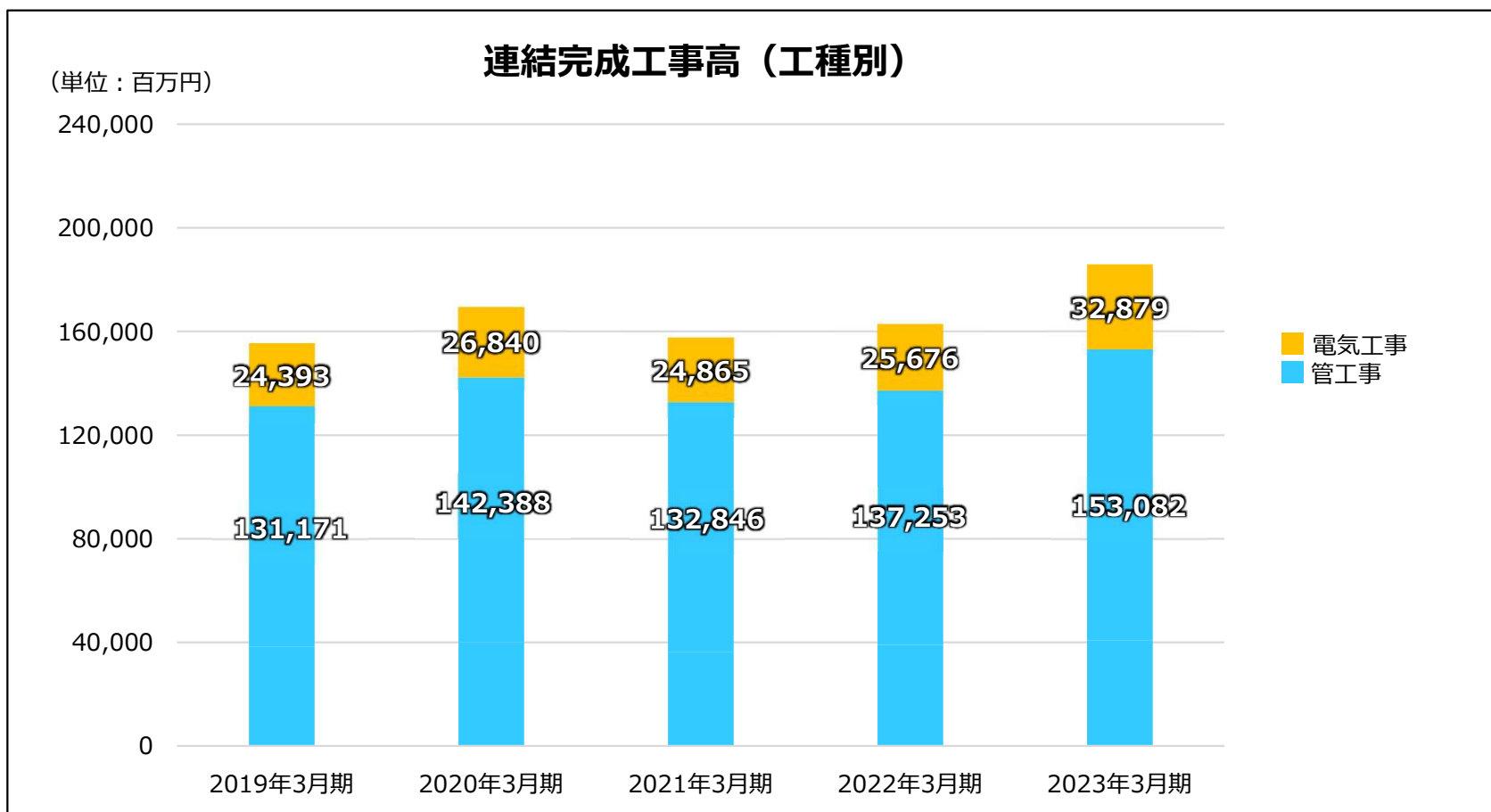
	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
東日本事業部	38.6%	39.1%	40.0%	41.2%	36.4%
中日本事業部	18.1%	18.3%	17.5%	16.8%	16.1%
西日本事業部	36.9%	36.6%	37.0%	35.8%	37.6%
国際事業部	6.4%	6.0%	5.5%	6.2%	9.9%



# 連結完成工事高（工種別）〔通期〕

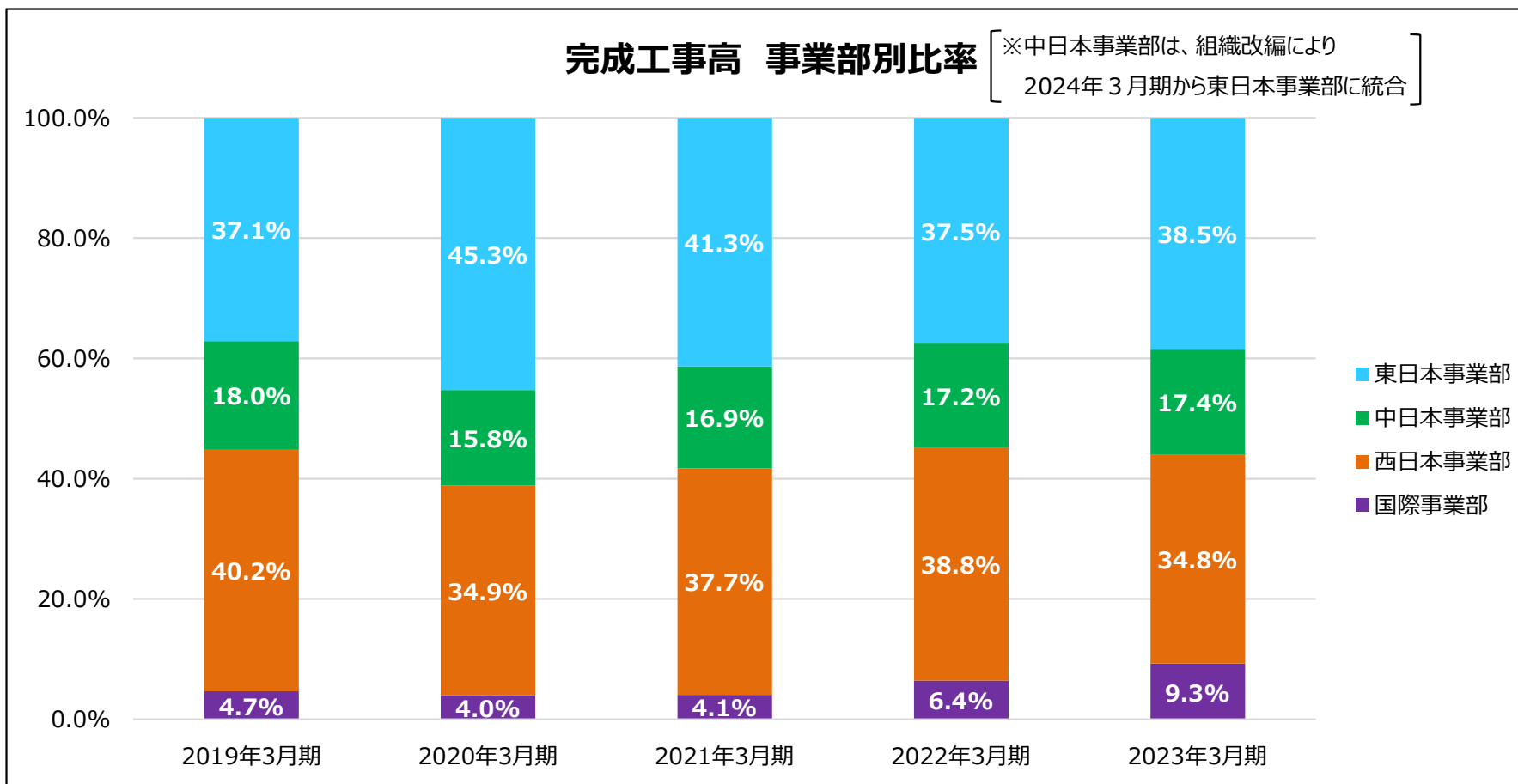
(単位：百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
電気工事	24,393	26,840	24,865	25,676	32,879
管工事	131,171	142,388	132,846	137,253	153,082
合計	155,565	169,229	157,712	162,929	185,961



## 完成工事高比率

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
東日本事業部	37.1%	45.3%	41.3%	37.5%	38.5%
中日本事業部	18.0%	15.8%	16.9%	17.2%	17.4%
西日本事業部	40.2%	34.9%	37.7%	38.8%	34.8%
国際事業部	4.7%	4.0%	4.1%	6.4%	9.3%

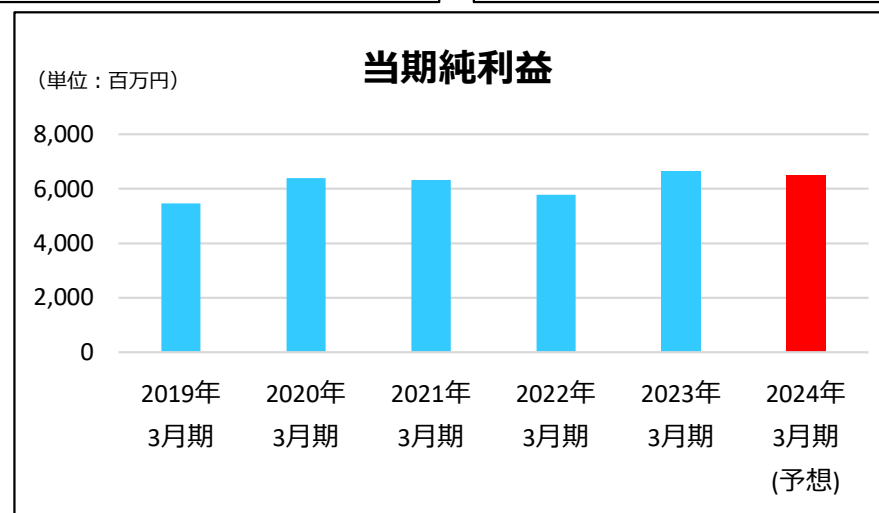
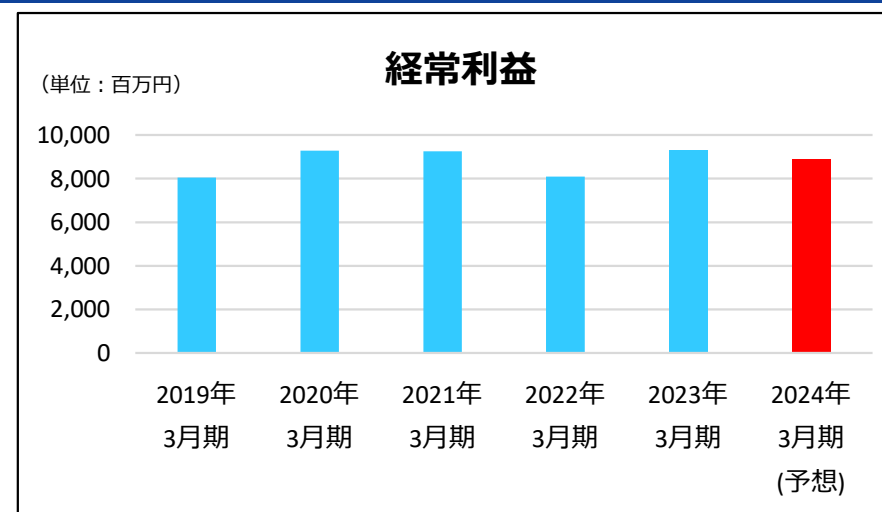
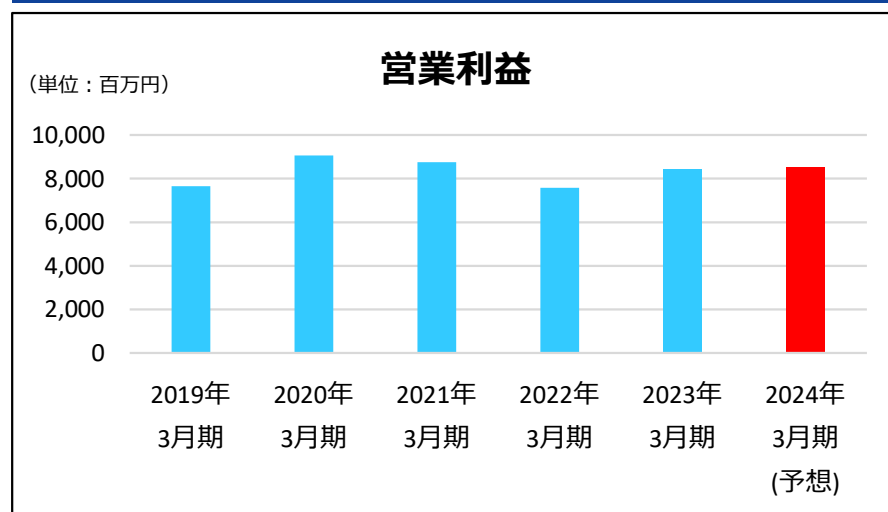




# 連結業績利益（営業／経常／当期）〔通期〕

(単位：百万円)

	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年3月期 (予想)
営業利益	7,661	9,063	8,754	7,584	8,428	8,500
経常利益	8,057	9,282	9,262	8,095	9,288	8,900
当期純利益	5,464	6,399	6,318	5,778	6,626	6,500





お客様とともに、これからも

## 免責事項

当社が開示する今後の計画、戦略などの将来の業績に関する見通しは、発表時点で合理的であると判断する前提に基づき作成しています。従って、様々な要因により、実際の業績が予想と異なる結果になる場合があります。

I Rに関する問合せ先

経営企画本部 コーポレートコミュニケーション部：電話 03-5276-4568

〒102-8175 東京都千代田区富士見2-15-10